

第 8 回 中央区自治協議会 会議録

開催日時	令和 6 年 3 月 19 日 (火) 午後 3 時から午後 5 時まで
会 場	白山会館 2 階 胡蝶の間
出席者	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">委 員</div> <p>渡辺(雅)委員、玉木委員、豊島委員、米倉委員、高田委員、上之山委員、唐沢委員、伊藤委員、野澤委員、樋口委員、山岸委員、鈴木委員、長谷川委員、吉岡委員、小林(栄)委員、渡邊(俊)委員、小林(寿)委員、田中(雅)委員、渡部委員、佐藤委員、八木委員、高橋委員、中嶋委員、高見委員、田中(晴)委員、森本委員、松川委員、桐生委員、若木委員、北川委員</p> <p>出席 30 名 欠席 2 名 (井上委員、小奈委員)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">事務局・説明者</div> <p>[新潟市教育委員会] 教育支援センター所長、中央図書館長補佐、中央公民館長 [中央区役所] 区長、副区長、窓口サービス課長、健康福祉課長、建設課長、東出張所長、地域課長、地域課長補佐</p>
議 事	<p>1 開会</p> <p style="margin-left: 40px;">○ 会議の成立について 委員 32 名中 30 名出席のため、規定により会議は成立</p> <p>2 報告 (議長 = 佐藤会長)</p> <p>(議 長)</p> <p>皆さんこんにちは。いつものとおり、次第をご覧になってください。今日は、議事がありません。委員からの報告、部会からの報告、さらに各所管課からの報告と、このような形になっております。それでは、まず委員活動報告です。(1)の①中央区自治協議会委員推薦会議委員の辞任及び交代委員の就任について、若木座長、よろしくお願ひします。</p> <p>――委員活動報告――</p> <p>(1) 委員からの報告について</p> <p style="margin-left: 40px;">①中央区自治協議会 委員推薦会議 委員の辞任及び交代委員の就任について (資料 報1)</p>

(若木委員)

委員推薦会議座長の若木でございます。私のほうからは、委員の委任及び交代委員の就任につきまして、ご説明いたします。資料報1をご覧ください。

令和6年3月31日付で、新潟青年会議所の中嶋淳委員、大原簿記公務員専門学校新潟校の田中晴菜委員が選出団体を卒業されるため辞任されます。これを受け、中嶋委員の交代委員として新潟青年会議所からは寺井翔吾さん、大原簿記公務員専門学校新潟校からは土田菜々子さんが推薦され、承諾も頂き、4月1日付で就任することになりました。部会については、前任委員が所属されていた部会を引き続き寺井さんは第4部会、土田さんは第1部会となっております。なお、交代委員の就任については、自治協議会推薦会議運営要綱に則り、座長専決として承認させていただきましたので、ご報告します。

委員推薦会議の構成員の皆様には、本日の会議開催前に第2回委員推薦会議を開催し、その旨を報告いたしました。来年度は第10期の委員選出に向け、委員の構成枠や公募委員の選考について検討してまいります。

以上で報告を終わります。ありがとうございました。

(議長)

ありがとうございます。今回、退任になります中嶋委員と田中委員は、後であいさつをしていただきますので、よろしくお願いいたします。

質疑応答は、委員からの報告がすべて終わってからしようと思います。

それでは、続きまして、②中央区地域公共交通検討会議の報告です。松川委員よろしくお願いいたします。

②中央区地域公共交通検討会議（資料 報2）

(松川委員)

中央区地域公共交通検討会議のことについて、ご報告させていただきます。資料報2をご覧ください。

今回、書面開催ということで、出席者が一堂に会したわけではなく、資料の送付があり、書面で意見を求められたということです。内容は、生活交通改善プランの今年が本来は改定の予定だったのですが、市と新潟交通の運行協定の見直し等に影響を受けまして、今の実行しているプランを1年延長して、来年度、見直しますということで、改定内容は期間の延長だけでした。

こちらにありますように、現行プランが終了になりますが、新しいプランの策定は来年以降ということになりました。これに対しまして、私と鈴木委員が今回、この検討会議の委員なのですが、来年、改定される新しい生活交通改善プランに反映させてほしいことを今から言っていこうということで話し合いまして、裏面にあります一部改定につ

いて、このような意見を申し上げました。

特に1番目、駅の南北直通バスが少なすぎるというところですが、3月31日、いよいよ南北つながって、バス路線がつながるのですけれども、ダイヤを見て、本数の少なさに唖然としまして、特に萬代橋ラインが新潟駅止まりになっていきますけれども、これをそのまま南に全部、直通させれば良いのにと話をしていまして、南へ行くほうは、S5というのは女池線、S6というのは長潟線、S7というのはスポーツ公園線と、結局、萬代橋ラインで市役所方面から来たのが枝分かれしていけば、本数的にもちょうど釣り合いが取れるのではないかと。新設しなくても、そのようにすれば、全部直通で便利なのに、というような感じで話し合いました、意見をしていこうと思いました。

さらに駅南から来るバスが、新潟駅を直通するのはいいのですけれども、半分くらいが万代シテイで止まってしまうと、古町がますます斜陽化してしまうのではないかと、バスの1日乗車券というものを通年設定してほしいと。1回乗って260円というのは、私でもこたえますので、先ほどの教育ミーティングでも、部活動の地域移行に関して、活動場所への移動の費用負担も軽減してほしいということは申し上げたのですけれども、ここにも関連しています。

また、エコ通勤について、生活交通改善プランには月に一回、みんなこの日だけは車をやめて公共交通を使いましょう、という職員モラルに訴えるようなことで、全然、広がりを見せていません。人は具体的な利益を提示しないと行動パターンを変えませんので、みんなで一緒に乗車券を買ったら安くなりますという、その分は、市が負担することによってCO₂削減、SDGsにも合致するのではないかとということなど、いろいろと意見しました。

一つ、令和6年度でおもしろいなと思ったのは、市長が公共交通無料デーをやりますと。それから、中高生に3,000円分の乗車ポイントを配りますということを発表していますので、そこに対する予算を1億3,000万円取っています。委員の皆様、それから事務局の皆様にも、ぜひ無料デーにはバスに乗って、普段とは違う景色を見ていただきたい。乗ることによって、またいろいろな課題が見えてくると思いますし、その日にバスを無料にすることによって、まちがどのくらい元気になるか、バスに乗ってまちを歩いて体験していただきたいと思っています。会議概要の発表は以上です。

(議 長)

ありがとうございました。今、お二方から、委員推薦会議のことと公共交通の説明があったのですけれども、質問、意見等ございますでしょうか。よろしいですか。では、私のほうから公共交通について質問です。

先日読んだ本に、今、車の巨大メーカーは単なる車造りではなくて、交通を基にした環境とか、まちづくりとか、すべてを考えた車造りを進めているということが書いてありましたが、新潟市のほうも、ただの交通ではなくてまちづくりを含めた話というのは出ているのですか。

(松川委員)

MaaS (マース) というモビリティ・アズ・ア・サービスという、「サービスとしての移動」という言葉がフィンランドから始まり、あらゆる交通をつなげて、最適な移動手段を確保するということが、例えば、スマホで自宅から白山会館と入れるとルートが出てきて、運賃と時刻表も出て、簡単に公共交通を利用できるようにする。そういうことによって移動の手段ががらっと変わったということで、MaaSという言葉が今、一つのキーワードになっています。

新潟市にふさわしいMaaSの検討は非常に遅れているなと思いますので、これを加速させていただきたいと思っています。そうすると皆さんも車を使うより公共交通を使ったほうが、実は安くて快適な移動ができるのだという環境ができれば、人は変わっていくのではないかと。そうすると新潟市も人が歩いて、まちがにぎやかになって、そうすると経済が上がって、地価が上がって、税金が増えれば、回り回って市の財政も潤沢になる。そういった好循環ができることが、公共交通とまちづくりの合致だと思っていますので、そういった流れができるように、私もいろいろ発信をしていきたいと思っています。

(議 長)

ありがとうございます。これから新潟の交通もすばらしくなるということなので期待しましょう。ほかに何かありますでしょうか。

(森本委員)

中央区地域公共交通検討会議は、1年に何回くらい開催するのですか。

(松川委員)

基本2回と聞いています。今回は、議題が「公共交通改善プラン」の期間の延長と進捗報告のみだったということで、書面開催になったと聞いております。

(森本委員)

この時代なので、書面ではなくて、ウェブで開催しても良いのではと思いました。以上です。

(議 長)

ありがとうございます。ほかに何か意見ございますか。

(若木委員)

今回、バスの以外の交通の話は出なかったのでしょうか。

(松川委員)

ありがとうございます。今回、書面開催なので、議題もプランの期間延長と進捗報告だけだったのですが、裏面の真ん中にあるとおり、MaaSの取組みについて、過去の2回のトライアルを検証したうえで、JR、路線バス、区バス、住民バス、水上交通、自転車等を包括した仕組みの構築を目指すべきという意見を、鈴木委員と二人で申し上げました。みんなばらばらに動いていては、MaaSどころの話ではありませんので、その辺をぜひ次回の検討会議では特に主張していきたいと思っています。

(若木委員)

MaaSの取組みについて、もう少し加速させていただけないかなど。グローバルを目指すのであれば、年に1、2回の会議ではなくて、どんどん話を発展させていただければと思います。

(議長)

ありがとうございます。それでは、次にいきたいと思っています。

(2) 部会からの報告について

次第をご覧ください。(2) 部会からの報告です。まず最初は第1部会松川さん、よろしくお願いします。

①第1部会(資料 報3-1)

(松川委員)

部会の報告をさせていただきます。第10回の第1部会は、3月5日に行いました。会場、出席委員等は資料報3-1のとおりです。議題は二つです。

一つ目が、「古町活性化」の課題や解決に向けた提案について。12月にまち歩きもを行い、それも含めて課題の洗い出しを行いました。委員からの意見は、核となるものがないのは問題ではないか、例えば、委員から出たのは、札幌すすき野などはウイスキーのマークのところ実際に目印になって、みんなが集まりやすく、そこからまちに広がっていくような、そういった核がないのではないかという話もありました。

それから、提言を作るに当たって、数値目標を入れてみてはどうかという意見や、まち歩きでも共通認識になりましたけれども、標識案内板が少ないうえに、目立つ位置がないので、設置を増やす、あと場所を考える等について提案してみたいという意見がありました。

それらをふまえて、古町活性化に向けて、より取り組むべきことを厳選したうえで、

提言書の作成を進めていくこととしました。

一昨日の日曜日に、西堀のイタリア軒で、古町花街の活性化という歴史的景観地区の指定に向けたシンポジウムがありまして、8番町、9番町は昔ながらのまち並みを生かして整備していこうという取組みがやっと始まったということで、みんなが歩いて、京都や金沢のように風情のあるまちになったらいいなと思ひまして、参加してきたのですけれども、まず京都や金沢へ行くとみんな着物を着ているので、そういった風情を作っていきたいと思ひまして、第1部会でも、着物を持っていらっしゃる野澤委員と長谷川委員に、率先して着物を着てまちをあるいていただこう、ということになりました。

それから、議題の(2)「古町活性化」の取組みについてですけれども、前回、古町の飲食店の方々に新潟の食材を使ったオリジナルの定食を作ってもらおうということで、募集要項を作りまして進めていたのですけれども、今回の部会に中心協の高見理事に来ていただきまして、募集要項について意見を頂きました。まずターゲットが不明であること、県内なのか、インバウンド向けなのか。また、昼に来てほしいのか、夜に来てほしいのか、その辺があいまいだという指摘を頂きました。それから、期間、数量限定にしないと店舗側が参加しづらいといった意見を頂きまして、募集要項の大幅な練り直しをこれから行うところです。

また、テーマのみ決めて、内容等は店舗に自由に考えてもらうほうが参加しやすいという話もありましたので、新潟産の食材を使うという点は動かさず、テーマのみ決めて、内容等はお店側に自由に考えてもらうような募集要項に手直ししていきたいと思ひまして、各委員の方には、修正意見を次回の部会までにまとめてきてくださいということをお願いしてあります。それを基に、次の4月の部会では、改めて募集要項を作っていきたいと考えております。

それから、事業評価書について事務局から説明があったので、次の4月の部会で内容を確認して確定することとしております。第1部会からの報告は以上になります。

(議 長)

ありがとうございました。着物、非常にいいですね。皆さんもたまに、着物でまちをあるいてみるのもいいのではないかと思います。

続きまして、第2部会です。第2部会は、配付資料がないのですけれども、アンケートの進捗状況等を口頭で説明していただきます。では、米倉さんよろしくお願ひします。

②第2部会 (資料なし)

(米倉委員)

先月、お配りしましたアンケート、皆さんご協力本当にありがとうございました。アンケートを各コミュニティ協議会あてと避難所施設あてに出しております。

避難所施設から徐々に集まってきておりますし、コミュニティ協議会あてのものも、

今日、皆さんから多くの提出をいただきまして、本当にありがとうございます。この資料を基にいたしまして、集計して問題点を洗い出し、研修会、ワークショップなどを開きたいと思っておりますので、皆さんよろしく願います。報告は以上です。

(議 長)

ありがとうございます。皆さん、アンケートにご協力ありがとうございました。かなり大量に集まっており、これから集計するのは非常に大変だと思いますが、よろしく願います。

続きまして、第3部会です。田中さん、よろしく願います。

③第3部会 (資料 報3-2)

(田中 (雅) 委員)

会議の概要につきましては、お手元に配付してあります、報3-2をご覧ください。

第3部会は、水辺と緑化ということですが、鳥屋野潟にターゲットを絞って、これから研究、そして最終的には発信をすると決めてございますが、たった8名の部会のメンバーですが、中には水辺の会の森本さんとか、佐藤会長とか、長く鳥屋野潟の問題にかかわってこられた専門家がおられますので、そこに松川さんから貴重な資料をいただいて、着実に、一步ずつ進んでいます。

調べてみますと、いろいろな団体がいろいろなタイミングで提言等がされているのですが、ほぼ進んでいないというのが現状ですし、貴重な資源だというのは、皆さん理解をしているものの、最終的にどういう水辺、鳥屋野潟になってほしいかというような市民全体のコンセンサスなどもないというようなことで、自治協議会としても、こうあってほしいというような姿を絶え間なく発信していくということはとても大事ではないかということで、来年の2月ころを目途にシンポジウムを考えています。また、市長との懇談会が延期となっておりますが、こうした意見を早く市長へ申し上げたいと思っております。

(議 長)

ありがとうございました。私も第3部会の一員として頑張ろうと思っておりますので、よろしく願います。

続きまして、第4部会です。唐沢さん、よろしく願います。

④第4部会 (資料 報3-3)

(唐沢委員)

2月の全体会で、食をテーマとしている第1部会と第4部会、共同で作業を進められ

ないかという話がありました。そこで私、3月5日に第1部会を見学させていただきましたので、部会の最初に報告させていただきました。

第1部会は、私が見たところ、かなり終盤に近づいていたような印象を受けました。講師を招いて新しいメニューをどう開発するかというところで、かなり細かいところで部会の方々と講師とやり取りされていたかと思います。先ほど、松川部会長から話がありました、食材をどうするかとか、和食にするか、洋食にするかとか、値段はどうされるかということで、新しいメニューを作り出すというところにすごく力が注がれていたような印象を受けました。それに対して、私たち第4部会では、中央区の老舗をピックアップして、若者の視点で食文化、歴史を紹介していくという事業が中心になりまして、第1部会のほうは「作り出す」ということがメインですし、第4部会のほうは、「紹介する」というところがメインとなっていますので、目立つところがはっきりしているところが今、違いがあるということが分かりました。

今後、それぞれが部会の取組みを進めていって、今後、連携できる場所があれば、またお互い部会を見学したり、話し合ったりしながら進めていきたいというのが第4部会の意見としてまとまりました。

第4部会の内容ですけれども、まず各委員が住んでいる地域の老舗をピックアップして持ち寄るという宿題がありました。老舗というのは、代々続く古いお店、先祖から続く家業を就いているお店、年代につきましてはおおむね50年から100年の間ということで、そういうお店をピックアップした結果、下町地区、鳥屋野地区、あるいは沼垂地区等で合わせて30店舗くらいの老舗を持ち寄ることができまして、その老舗についての情報を共有しました。

次回、持ち寄った老舗について、若者に我々がプレゼンして、若者にどこの老舗に行ってみたいと思うかというようなことを聞いてみたいと。それで、若者が興味を持った老舗について、調べていこうかということを考えております。あくまでもターゲットを若い人たちに絞って、若者の力を借りて進めていきたいというのが我々の考えです。

(議長)

ありがとうございました。これで第1部会から第4部会までの報告が終わりました。今の報告に対して、質問、意見等ありましたら挙手をお願いします。

(松川委員)

第3部会の田中さんに伺いたいのですが、平成25年9月に新潟県が鳥屋野潟の整備計画を50ページにわたるような資料を作成しており、これを見ると、弁天橋から体育館のほうに行くところ、今、車道の横に桜がありますが、整備後になると築堤がきれいに整備されて、歩道から見えるような形になって、こうなればいいなという理想的な姿が写真イラストで出ていますので、あの資料もすごく参考になるかと思います。

(議 長)

ありがとうございます。では、樋口委員、どうぞ。

(樋口委員)

第4部会の唐沢部会長から第1部会を見学していただきまして、本当にありがとうございました。

第1部会もそうですし、第4部会もそうなのですが、地域と密着して事業を進めるということですが、以前、市役所がルフルに移ってくるときに、実はそのときに中心協の方と共同でランチマップというものを作らせていただきました。紹介するお店は、中心協の方から一生懸命探していただいたということなのですが、この前、高見さんが来られてお話を聞いたときに、実は、ランチマップを作るときに中心協のメンバーの一人である松崎さんという方が、東堀ですとか、西堀のほうのお店にも声をかけてくれたということだったのです。それで日ごろ、なかなか交流がないエリアを、この自治協議会の事業を間に挟んで、そういうものを紹介してもらえたということで、古町、本町、東堀、西堀の飲食関係の流通がよくなったといいますか、行き来ができたという話がありました。自治協議会の活動が、我々が思っているよりも地域の方から感謝されるのだなということを感じました。ですから、色々大変なことはあるのでしょうけれども、逆に地域の方をお願いをしたり、地域の方に頼りながら、我々のやりたいことを進めていくというようなやり方でやっていくほうが効果があるのではないかということを感じました。ですから、第1部会、第4部会がお互いに協力し合いながら、一つの大きな事業を令和6年度に成功させたらいいなと思いました。

(議 長)

ありがとうございます。ほかに何か質問、意見等ございますでしょうか。

(山岸委員)

自治協議会では、にいがた2kmだとか、古町の活性化について、常に話題となっているのですが、地元にお住まいの方たちと地元でご商売をなさっている方たちは、どのようにお考えになっているのだろうかということが、何か少し置き去りにされているのかなというように感じているのですが、そのあたりいかがでしょうか。

(議 長)

ありがとうございました。樋口さん、どうぞ。

(樋口委員)

先般、第1部会に中心協の高見さんが来てお話されたのは、商業的な、流通的なものは、確かに人の流れが少なくなったと言うけれども、実は古町の飲食店というのは、昔

からのお店というのは、それなりに自分たちの特色を出して、固定客をしっかりとつかんでいるということなので、どんどんお店が入れ替わっているというのは、駅前ですとか、市外、郊外から来た人たちが、やはりなじめなくて店を閉めているというケースで、地元の人たちにしてみると、決して自分たちの地域が衰退しているという認識はないとのことでした。高見さんの話を聞いて、皆、「古町活性化」とよく言いますが、我々の古町に対する考え方が少し違っているのかなと思いました。

(議 長)

それでは白山コミ協の小林委員、いかがでしょうか。

(小林 (栄) 委員)

昔は古町に行くことを「新潟に行く」と言っていて、私が覚えてる古町は、今の上古町ですが、その頃と今を比べれば、例えば、数多くあった夏祭りが「新潟まつり」に重点を置いてシフトされましたが、別に衰退ということではなく、必要がないものを削っていった、ということだと思います。確かに、お店の数も減りましたが、今の子どもたちは、今の古町を見て衰退しているとは考えていないですよ。やはり頑張っていると思うし、もっと自分たちの力で、もう少し人を呼びたいというように思っていると思うのですよね。そこが大事なのではないかと思うのです。

私の地域にある、長い歴史のあるお菓子屋さんが、次の若い世代に引き継がれているなど、古き良きものを持ったまま自分たちで新しいものを作りたいということで、いろいろなことにチャレンジしているように、そのような面を育てる地域でありたいと思っています。

(議 長)

ありがとうございます。どうぞ。

(松川委員)

私も高見さんの話を聞いていましたけれども、古町は決して衰退していないというのがあるのと、昔からあるお店は、世代が代わり、やる気のある若い人がどんどん新しいことをやっていこうということになっている。ではなぜ古町というと衰退化という話がついてくるかという、高見さんによれば、メディアの影響だろうと。

また、古町の課題として挙げていたのは、敷居が高いという偏見で見られているから、これから見える化をしていこうという話をしていました。

古町といっても、カミフルと5番町、6番町と7番町は全部違いますし、8番町と9番町は、昔ながらのまち並みを活性化していこうということで、その地域の宝を磨いて伸ばしていけば、8、9番町は、もしかしたら金沢のひがし茶屋街になるかもしれないし、ここにしかない、ここに行けばほかでは味わえない体験ができると思えば、全国、

全世界から人が来るようになり、昔と違うにぎわいが出て、新潟を再び牽引する宝になるなど、私は思っています。

(議 長)

ありがとうございます。高田委員、どうぞ。

(高田委員)

私は、本町2番町に生まれて、東堀4番町、鍛冶小路のそばで育ちました。今、古町に出てくると、ああ本当に変わったなという気がします。皆様も大体、ご存じかと思いますが、大和がなくなりました。それからラフォーレ原宿が撤退し、その後、三越が閉店しました。それからローサも閉まるということと、私が行きつけのイトーヨーカドーも店を閉め、別のお店に変わっていくということで、全体を見ていくとどんどん商売としては成り立たないというような感じがするわけです。

かつて、東堀、西堀というのは、堀があって、柳があって、そこを最初、運送船が通っていたのですけれども、だんだん地盤沈下が起きて、橋の下が通れなくなり、堀としての役割がなくなって埋め立てたということかと思うのですが、古町というのは、商売がもうやっていけないものかなという感じがして、さびしく思っています。人口減少が進んで、住む人もお客も少なくなる中で、考え方を変えて、文化、歴史のまちという、そちらのほうから、もう一回、盛り上げたらどうかと思います。

(議 長)

ありがとうございました。唐沢委員、どうぞ。

(唐沢委員)

委員の中にも古町・本町でお店を構えていらっしゃる方が何人いらっしゃると思うので、その方々がにぎわいというものをどう見てらっしゃるのか、差支えない範囲で話を聞いてみたいと思うのですけれども、中嶋さん、いかがでしょうか。

(中嶋委員)

私は、本町のほうでお店をやらせていただいているのですけれども、私自身は高校生の頃にこちらにいて、4年前に16年ぶりくらいにこちらに帰ってきて、最初に思ったことは、私の若いころは古町にWITHビルがあったり、ラフォーレや、スタバなどいろいろあったので、やはりまちといえば、古町というイメージでいたのですが、帰ったときに一番最初に思ったのは、若者がいなくなったなという印象でした。古町の方がいろいろ頑張っているのはもちろん分かっているのですけれども、私がお店を始めてからも人が減ったなと思いますし、やはり古町はもう少し若い人たちを呼び込むような新しい何かをするのが一番活性化とかにいいかなと思ひまして、第4部会のほうでも、ぜひ学

生と連携して、一緒に事業ができればいいなと思っています。

(議 長)

ありがとうございました。では、若木委員、どうぞ。

(若木委員)

古町ではイベントが色々ありますが、それが終わるともう人が来ない。昼間から飲める横丁を作って、古町への敷居を低くして人を呼び込むなど、継続したまちづくりを考えていかなければならない。それからもう一つ、うまく商売をやっている若い人たちは、お店にお客さんが来ていないのだけれども、インターネットで売っているのですよ。そういうことで商売のスタイルが変わってきているのですね。それに合わせたにぎわいも含めて考えていかないと。確かに古町は、地区によって特徴があるので、それを活かしてもう少し商売っ気を出してほしいというか、それは経営の話なのですが、我々がしなければならないのは、経済の話です。

これは観光も同じで、もう少し、行政も関わりながらマクロの視点でまちづくりを考えてほしいなと思っています。

(議 長)

ありがとうございます。だいぶ盛り上がってきたのですけれども、時間が来てしまいました。皆さん、本当に古町が好きなんですね。これだけ市民が古町のことを思っているので、行政の皆さん、我々の意見も聞いて、一緒にまちづくりを頑張りましょう。

では、時間も来ましたので次に行きます。

――各所管課からの説明（報告）――

(3) 令和6年度 中央区予算の概要について（資料 報4）

(議 長)

それでは、各所管課からの説明に入ります。令和6年度中央区予算の概要について、平出総務課長、よろしくお願いします。

(総務課長)

私のほうから、令和6年度の中央区役所の予算概要について、ご報告します。

資料報4をご覧ください。一枚めくっていただきますと、令和6年度の中央区の主な取り組みの資料がございます。ご覧ください。区ビジョンの目指す姿ごとに各事業を掲載しております。緑色の丸が区長提案事業です。予算額は3,000万円となっております。赤丸が特色ある区づくり事業で予算額は合計で3,300万円、青い丸が健康福祉・安心・安全関連の事業で予算額は合わせて758万1,000円となっております。

はじめに緑の丸、区長提案事業につきましてご説明します。今年度から開始しました、①日和山浜魅力創出事業「ハマベリング!!!」を拡充し実施します。4月には西海岸公園にふわふわドームなどの新たな遊具が設置され、オープニングイベントを開催する予定です。また、新規事業として、②越後線の高架下用地に地域の拠点となる公園の整備を行います。在来線高架下利用促進事業という事業名で整備します。

次に青丸、健康福祉・安心・安全関連事業につきましては、今年度に引き続き、⑤から⑨の5事業を実施します。⑤は地域への啓発の推進、はいかい模擬訓練の開催支援ということで、認知症地域支えあい推進事業を実施します。⑥、地域主体で開催する赤ちゃん誕生お祝い会や交流会の支援ということで、赤ちゃん誕生お祝い会&交流会支援事業を実施します。⑦、相談及び仲間づくりの場の提供、関係団体との連携会議ということで、みんなでつながるにっこにこ子育て応援事業を実施します。⑧、糖尿病の正しい知識や予防方法の啓発、特定健診の受診勧奨ということで、レッツトライ!糖尿病予防事業を実施します。⑨は児童・生徒向けの避難所運営講習や交通安全及び防犯の啓発を行う安全な地域づくり事業を実施します。

次に赤丸、特色ある区づくり事業の8事業ございますけれども、こちらは先月の自治協議会でご説明した内容となっています。

最後にその他として、黒丸の⑬松くい虫防除事業を引き続き実施します。西海岸公園の被害木の伐倒・駆除、跡地への植栽を実施します。こうした事業に取り組むことで、にぎわう都心、豊かな自然、みなとまち文化が織りなす活気あふれる拠点のまちを目指してまいります。これら新年度予算は、現在、市議会のほうで審議中です。区役所予算の概要につきましては、4月7日の中央区だよりで詳しく紹介させていただき予定となっております。私の説明は以上となります。よろしく申し上げます。

(議 長)

ありがとうございました。今の報告に対しまして、皆さん意見、質問等ございますでしょうか。上之山委員、どうぞ。

(上之山委員)

やはり中央区と言ったら、一番問題になっているのは背割排水の問題だと思うのですが、そちらのほうはまた別予算なのでしょうか。

(建設課長)

建設課の佐藤です。ご意見ありがとうございます。

主な取り組みということでご紹介させていただきましたけれども、背割排水路の改修ですとか、道路の整備などは、継続してこれとは他に続けていきたいと思っております。

(議 長)

ありがとうございました。樋口委員、どうぞ。

(樋口委員)

中央区の主な取り組みということでご説明いただきましたけれども、1月1日に地震が起きています。中央区として、防災関係の考え方というのはいかがでしょうか。

(総務課長)

このたびの地震を受けまして、地域の皆さんから津波避難ビルの場所ですとか、それから液状化しやすいところがどこなのかという問い合わせを多く頂いています。それから、津波がどのくらいで各地域に到達するかということも含めて、そういったリーフレットを作って配布するという事業を予定しております。

(議 長)

ありがとうございました。他によろしいですか。

3 その他

(議 長)

次は、その他です。今回は、案件は特にないでしょうか。

それでは、閉会になるのですけれども、今回で退任なさる中嶋さんと田中さんから、退任のあいさつを頂こうと思います。では、まず中嶋さん、よろしくお願ひします。

(中嶋委員)

先ほどもごあいさつさせていただきました、新潟青年会議所の中嶋です。この青年会議所は卒業ということで、こちらの自治協議会も卒業させていただきます。1年間という短い期間だったのですけれども、特に第4部会の方には本当にいろいろお世話になりまして、4年前に新潟に帰ってきて、いろいろ分からない部分もあったのですけれども、自治協議会に入らせていただいて、いろいろ勉強する機会をいただいて、新しいこともいろいろ教えていただきました。ありがとうございました。

(議 長)

ありがとうございました。

続きまして、田中さんよろしくお願ひします。

(田中(晴)委員)

大原簿記公務員専門学校新潟校の田中晴菜と申します。1年という短い期間でしたが、

ありがとうございました。特に第1部会の皆さんにはとてもお世話になって、まちづくりについて、いろいろな人とお話しできたり、また考える機会となって、とてもよかったと思っています。

大原簿記公務員専門学校を修了して、3月31日をもってこの自治協議会を卒業という形になりますが、春から社会人となるので、ここで学んだことを役立てていきたいと思っています。1年間、ありがとうございました。

(議長)

ありがとうございました。また、いつでも自治協議会に戻ってきてください。

4 閉会

(議長)

皆さん、どうもありがとうございました。お疲れさまでした。

県議・市議	3名
傍聴者	2名
報道機関	0社